

湧永製薬3連勝で男子は混戦に拍車がかかる

～ 第29回日本ハンドボールリーグ第7週～

第29回日本ハンドボールリーグ第7週は広島などで男子5試合、女子2試合が行われ、男子は上位陣の大崎電気、ホンダが相次いで敗れ、混戦模様になっそう拍車がかかった。

前週のホンダ熊本戦で今シーズン初黒星を喫した大崎電気は湧永製薬と対戦。大崎電気は開始からサイド、ポストへとコンビネーション豊かにボールを回す湧永製薬攻撃陣に次々とゴールを許す苦しい展開となった。10 - 15とビハインドで折り返した後半も小沢、下川、古家らで確実に加点する湧永製薬に対し、大崎電気は宮崎、中川、岩本の自慢のバックプレーヤー trio が不発。結局、最後までリズムをつかめなかった大崎電気が完敗し、2連敗となった。大崎電気は、続くトヨタ車体戦も苦戦を強いられた。クイックスタートから香川、野村らが速い攻撃をしかけるトヨタ車体に手を焼き、なかなか突き放せない。後半25分に27 - 24としたものの、そこからトヨタ車体に3連打を許し、残り15秒、同点に追いつかれてしまった。引き分け濃厚となった残り1秒、中川の起死回生のステップシュートで劇的なサヨナラ勝ちを収めた大崎電気だったが、今後の戦いに不安が残る2戦となった。

大崎電気を勝点3差で追うホンダは、痛い連敗。ホンダ熊本戦は、エース譚崇聖の強打を軸に先行するホンダ熊本を追う形となった。ホンダは11 - 15で折り返した後半、阿部、谷口らがスピーディな攻撃をしかけたが、G K藤田、松岡を柱にしたホンダ熊本の集中力みなぎるDFに要所でシュートを阻まれ、追いつけなかった。湧永製薬戦は、両チームの堅いDFもあり、一進一退の展開となった。ホンダは後半22分19 - 21から野嶋、加藤の連取で同点に追いつく粘りを見せたが、この後、4連続失点を許して、万事休す。反撃は湧永製薬の誇る高いDFに阻まれた。

一方、大崎電気、ホンダを連破した湧永製薬は好調を大いにアピール。前週までは白星が伸びずに低迷していたが、この連勝でプレーオフ圏内が見えてきた。守護神・坪根を最後尾に置く、高いDFが復調気配を見せているのが心強い。前週の大崎電気戦に続く上位陣からの白星で意気上がるホンダ熊本、そのホンダ熊本の勢いを1点差で跳ね返したアラコ九州、大崎電気と互角の展開を繰り広げたトヨタ車体と、中位、下位陣が気を吐いた第7週。優勝、プレーオフ争いはますます混沌としてきた。

女子は2試合。広島メイプルレッズ - ソニーセミコンダクタ九州戦は、開幕2戦目でソニーに敗れている広島が気合の入った攻守を見せる。金鎮順、呉成玉を中心としたセットOFが機能。DFも良く足が動き、そこから大前らの速攻が飛び出す理想的な展開となり、後半13分には29 - 16と安全圏に入る快勝だった。ソニーは、広島への堅いDFにミスが続出し、反撃の糸口をつかめなかった。北国銀行 - HC名古屋戦は、前半はHC名古屋が菅谷美奈のロングなどで応戦したものの、後半に入ると北国銀行がペースアップ。G K田中に当たりが出始めた北国銀行は得意の速攻を得点源に、後半3分からの9連取で一気に勝負を決め、3勝目をあげた。

第8週は富山、愛知などで男子2試合、女子2試合が組まれている。

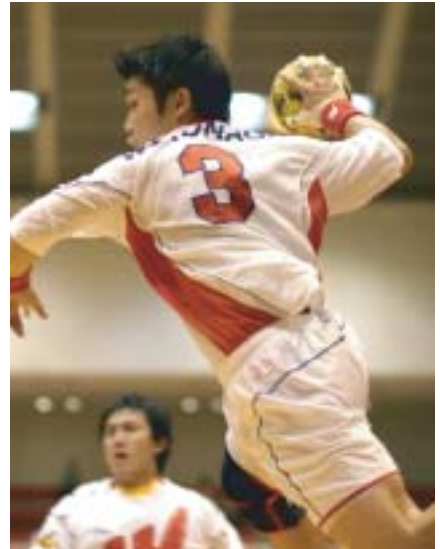
第8週の日程

[1 部]

11月20日(土) 富山・氷見市ふれあいスポーツセンター(JR氷見線氷見駅徒歩20分)	14:00 ~ (男) ホンダ × 大崎電気
愛知・知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分)	14:30 ~ (男) トヨタ車体 × アラコ九州
熊本・山鹿市総合体育館(九州産交バス・日輪寺前徒歩15分)	13:00 ~ (女) ムロン × HC名古屋
鹿児島・国分市総合体育館(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	13:00 ~ (女) ソニー × 北国銀行

[2 部]

11月20日(土) 愛知・知立市福祉体育館	12:30 ~ トヨタ自動車 × 豊田合成
11月21日(日) 東京・駒沢屋内球技場	16:00 ~ HC東京 × 大阪ガス



大崎電気、ホンダを連破した湧永製薬・下川

11月10日(水) 男子1部 三重・本田技研健体体育館	
ホンダ熊本 25 (15-11) 21 3勝0分7敗	ホンダ 4勝2分3敗
<1/1> K 藤田 中谷 0/0 2/4 大宮 鶴見 0/1 0/0 米満 柳本 0/2 3/3 上田 河瀬 1/1 0/0 本多 加藤 4/7 1/1 4/9 大井 伯谷 1/5 1/2 0/0 佐松 岡千石 <0/1> 4/6 若松 延野 嶋部 5/7 <1/3> K 松松 延野 嶋部 5/7 9/18 譚崇聖 阿吉 井賀 2/4 1/1 池田 吉羽 賀方 K 1/4 柳田 四方 K	
1/1 24/45 6(FPP)11 19/44 2/4 審判(船谷・丸山) 観客 327人	

11月11日(木) 男子1部 広島・湧永満之記念体育館	
湧永製薬 26 (15-10) 19 3勝1分5敗	大崎電気 6勝1分2敗
4/5 下川 豊田 2/4 1/3 2/2 浜本 加藤 1/2 0/0 吉田 前田 0/0 1/3 小薮 中川 3/8 1/7 東 佐藤 0/0 <2/2> K 坪根 永島 3/3 2/3 6/10 小沢 岩本 1/8 0/1 0/0 杉山 村太 2/5 <1/2> K 松村 濱田 K <1/2> 4/10 古家 東 1/4 0/1 渡山 猪原 K <0/1> 6/8 山山 窪妻 1/6 0/0 中山 窪小谷 0/0 宮崎 4/11	
2/3 24/46 6(FPP)4 18/51 1/4 審判(神野・矢本) 観客 617人	

熱気はらむ個人賞レース

男子の得点王争いはホンダ熊本を上昇気運に乗せた台湾のエース・譚崇聖が11試合で85点をマークしてトップに立っているものの、10試合で72点の金性憲(大同特殊鋼)・9試合で69点の呉相民(アラコ九州)にも巻き返しのチャンスは十分あり、日本人選手ではトヨタ車体の新鋭・香川が4位と気を吐いているのが注目される。譚はフィールド得点でも2位以下に大きな水をあけて独走態勢に入っている。女子は広島メイブルレッズの主砲・金鎖順が得点王、フィールド得点とも圧倒的な数字を残しており、このあと富田(オムロン)・田中(ソニーセミコンダクタ九州)らがどこまで追いつけるかが見もの。金以外でも杉本、青戸、呉成玉らが上位に顔を出している広島メイブルレッズは、やはりクイーンの名にふさわしい攻撃陣のバランスの良さをうかがわせている。山口(湧永製薬)・水野(オムロン)がリードするシュート率争い、金(大同特殊鋼)と富田(オムロン)がトップに立つ7msロー得点とも、2位以下の各選手が僅差で続いており、まだまだ予断を許さない。7msロー阻止は坪根(湧永製薬)と田代(北国銀行)が5割近いアベレージを残して存在感をアピールしている。

11月13日(土) 男子1部 佐賀・神埼中央公園体育館	
アラコ九州 29 (12-9) 28 3勝1分5敗	ホンダ熊本 3勝0分8敗
K 田中利 藤田 K 0/0 高山 大宮 0/0 2/4 村上直 米満 0/0 2/3 植木 上本 1/3 6/7 村上秀 本多 0/1 1/2 3/9 呉相民 大井 4/11 1/1 3/4 佐久間 佐伯 1/1 0/0 鶴田 松岡 K <1/1> 4/12 田中慎 若松 4/8 1/1 0/0 阪 松延 K <0/1> <0/1> K 谷川 譚崇聖 9/13 3/3 石黒 池田 7/9 5/6 朴正鎮 柳田 0/0 <0/1> K 吉田	
1/2 28/48 9(FPP)10 26/46 2/2 審判(家永・福島) 観客 513人	

11月14日(日) 男子1部 石川・小松総合体育館	
大崎電気 28 (13-14) 27 7勝1分2敗	トヨタ車体 4勝2分4敗
3/4 2/8 豊田 木下 K 0/0 加藤 田中秀 0/0 0/0 前川 佐々木 1/5 3/4 中川 辻 1/4 0/0 佐藤 野村 8/15 2/3 永島 近藤 0/0 4/6 岩本 北出 0/3 3/5 太田 北平 K <1/4> K 濱水 清水 1/3 4/5 東 長谷川 0/0 <0/1> K 石原 吉田 5/6 1/1 1/1 猪妻 林川 K 0/0 窪小谷 香川 9/14 6/10 宮崎 崎前 1/1	
3/4 25/42 4(FPP)17 26/51 1/1 審判(浜野・阿部羅) 観客 1150人	

11月14日(日) 女子1部 石川・小松総合体育館	
北国銀行 25 (11-11) 16 3勝0分2敗	H C名古屋 0勝0分6敗
<1/1> K 田中 吉村 K <0/2> 0/0 渡邊 中村 0/0 1/1 6/13 上岡 岡田 0/0 0/1 0/0 宮前 加藤 2/3 3/3 2/4 中村 宮田 2/4 2/5 北岡 菅谷奈 2/6 1/1 3/4 小野澤 羽出重 3/7 0/1 船本 長田 2/5 2/3 0/0 武井 水野 1/2 <0/1> K 田代 川畑 K 2/3 新田 庵下 K <1/7> 2/3 山住 植田 1/3 0/0 井上 佐藤 0/0 2/2 0/0 若松 原 2/3	
8/9 17/33 2(FPP)7 15/33 1/2 審判(高田・田村) 観客 700人	

11月14日(日) 女子1部 広島・東区スポーツセンター	
広島メイブルレッズ 34 (20-12) 24 5勝0分1敗	ソニーセミコンダクタ九州 2勝0分4敗
<0/1> K 高森 郭惠静 6/12 1/1 土屋 長野 0/0 0/0 樹山 山田千 1/2 2/2 6/8 青戸 山田 2/9 4/9 大前 草留 0/0 1/2 河本 山田早 3/4 0/2 菅野 水田 2/8 1/1 1/2 坪井 高栖 3/4 7/12 呉成玉 出雲 1/2 2/3 坂口 佐師 0/3 <0/1> K 滝井 飛野 K <1/2> 2/2 杉山 野田 2/3 0/2 杉本 寺田 K 2/3 7/12 金鎖順 中島 K <0/2>	
3/4 31/55 3(FPP)7 22/50 2/2 審判(加藤・角) 観客 511人	

11月14日(日) 男子1部 広島・東区スポーツセンター	
湧永製薬 25 (10-9) 21 4勝1分5敗	ホンダ 4勝2分4敗
2/3 下川 中谷 0/0 1/1 浜本 鶴見 4/8 0/0 吉田 柳本 0/0 0/1 小薮 河瀬 0/0 2/2 3/11 東 加藤 3/7 2/2 <0/2> K 坪根 廣政 2/2 3/3 5/10 小沢 谷口 5/11 2/3 杉山 千石 K <0/3> K 松村 鈴木 0/0 3/6 古家 野嶋 3/4 1/1 渡山 阿吉 2/5 0/0 中山 四方 K	
5/5 20/41 2(FPP)7 19/37 2/2 審判(家永・福島) 観客 509人	

“2強”ががっちり白星ゲット
2部男子は首位を走る北陸電力が豊田合成を35-18と大差で下して開幕からの連勝を6に伸ばし、2位のH C東京もトヨタ自動車に20-15と競り勝った。
北陸電力は7得点をたたき出したエース神田のほか、左腕コンビの杉山が6本の7m Tを含む11得点、桜井も8得点と大活躍、多彩なコンビプレーにスピーディな速攻を織り交ぜて前半で勝負を決めた。H C東京は前半10-11とトヨタ自動車の先行を許していたが、後半開始早々に佐藤、高木らの連打で逆転に成功すると、その後は手堅い攻守で主導権をキープして危なげなく白星を握った。

11月13日(土) 男子2部 福井・北陸電力福井体育館フレア	
北陸電力 35 (19-10) 18 6勝0分0敗	豊田合成 1勝0分5敗
K 西田 原 4/11 4/5 高橋 山越 3/3 7/12 神門 野 0/0 0/1 3/7 落合 桑田 0/0 8/14 桜井 湯脇 2/7 1/2 前名 倉 K <0/2> 1/3 高田 佐藤豪 6/22 6/6 5/6 杉山 半田 2/5 0/0 北村 山田 1/4 K 安藤 藤原 K <0/4> <1/1> K 大江 江	
6/6 29/49 2(FPP)4 18/52 0/1 審判(藤井・竹野) 観客 80人	

11月13日(土) 男子2部 愛知・三好公園総合体育館	
H C東京 20 (10-11) 15 5勝0分1敗	トヨタ自動車 2勝0分3敗
0/0 Kレラー 山本 K <0/1> 3/4 0/3 高木 三上 0/0 0/0 伊藤 光田 0/1 0/4 大道 厚沢 4/8 3/3 1/1 泉 甲斐田 0/2 5/8 田中 大塚 1/3 <0/1> K 宇田川 竜坂 口 1/2 5/5 木村 金子 0/3 <0/2> K 宇田川 敏吉 永 2/4 0/0 五島 倉田 1/2 2/2 佐藤 藤 K <0/1> 3/4 飯島 土肥 0/0 1/1 佐々木 稲本 K <1/2> 0/2 堤 福田 3/9	
3/4 17/30 11(FPP)17 12/34 3/3 審判(坪井・河合) 観客 121人	

...日本リーグのホットな情報をどうぞ...

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのもとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHL ニュース」

年間20回発行予定/3000円(郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)

男女1部個人賞レース 第7週終了

《男子》 《女子》

得点王

1	譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	85点	(11試合)	1	金 鎮 順 (メイプルレッズ)	57点	(6試合)
2	金 性 憲 (大同特殊鋼)	72点	(10試合)	2	富田 有美 (オムロン)	37点	(5試合)
3	呉 相 民 (アラコ九州)	69点	(9試合)	3	田中 美音子 (ソニー)	31点	(6試合)
4	香川 将之 (トヨタ車体)	59点	(10試合)	3	劉 晋 淑 (オムロン)	31点	(5試合)
5	白 元 喆 (大同特殊鋼)	55点	(10試合)	5	菅谷 美奈 (HC名古屋)	29点	(6試合)
5	宮崎 大輔 (大崎電気)	55点	(10試合)	6	杉本 絵美 (メイプルレッズ)	27点	(6試合)
7	豊田 賢治 (大崎電気)	54点	(10試合)	6	郭 惠 静 (ソニー)	27点	(5試合)
8	岩本 真典 (大崎電気)	48点	(10試合)	8	中村 尚美 (北国銀行)	24点	(5試合)
9	小沢 勝利 (湧永製薬)	46点	(10試合)	9	水野 恵子 (オムロン)	21点	(5試合)
10	野村 広明 (トヨタ車体)	45点	(10試合)	9	青戸 あかね (メイプルレッズ)	21点	(6試合)
11	吉 田 聡 (トヨタ車体)	42点	(10試合)	9	小野澤 香理 (北国銀行)	21点	(5試合)
12	谷 口 了 (ホンダ)	41点	(9試合)	12	水田 菜美子 (ソニー)	20点	(6試合)
13	大田 修一 (大同特殊鋼)	39点	(10試合)	13	山田 千尋 (ソニー)	19点	(6試合)
13	若松 龍介 (ホンダ熊本)	39点	(11試合)	14	佐久川 ひとみ (オムロン)	18点	(5試合)
13	東 慶 一 (湧永製薬)	39点	(10試合)	14	呉 成 玉 (メイプルレッズ)	18点	(6試合)

フィールド得点賞

1	譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	84点	(11試合)	1	金 鎮 順 (メイプルレッズ)	40点	(6試合)
2	白 元 喆 (大同特殊鋼)	55点	(10試合)	2	田中 美音子 (ソニー)	31点	(6試合)
3	呉 相 民 (アラコ九州)	54点	(9試合)	2	劉 晋 淑 (オムロン)	31点	(5試合)
3	金 性 憲 (大同特殊鋼)	54点	(10試合)	4	杉本 絵美 (メイプルレッズ)	27点	(6試合)
5	香川 将之 (トヨタ車体)	53点	(10試合)	5	郭 惠 静 (ソニー)	25点	(5試合)
5	宮崎 大輔 (大崎電気)	53点	(10試合)	6	水野 恵子 (オムロン)	21点	(5試合)
7	岩本 真典 (大崎電気)	46点	(10試合)	6	青戸 あかね (メイプルレッズ)	21点	(6試合)
8	野村 広明 (トヨタ車体)	45点	(10試合)	6	小野澤 香理 (北国銀行)	21点	(5試合)
9	豊田 賢治 (大崎電気)	39点	(10試合)	9	中村 尚美 (北国銀行)	20点	(5試合)
10	山口 修 (湧永製薬)	37点	(10試合)	9	水田 菜美子 (ソニー)	20点	(6試合)
10	下川 真良 (湧永製薬)	37点	(10試合)	9	菅谷 美奈 (HC名古屋)	20点	(6試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	山口 修 (湧永製薬)	37点/ 56射	0.661	1	水野 恵子 (オムロン)	21点/ 28射	0.750
2	豊田 賢治 (大崎電気)	39点/ 66射	0.591	2	青戸 あかね (メイプルレッズ)	21点/ 31射	0.677
3	岩本 真典 (大崎電気)	46点/ 83射	0.554	3	田中 美音子 (ソニー)	31点/ 49射	0.633
4	譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	84点/ 153射	0.549	4	杉本 絵美 (メイプルレッズ)	27点/ 43射	0.628
5	白 元 喆 (大同特殊鋼)	55点/ 102射	0.539	5	劉 晋 淑 (オムロン)	31点/ 50射	0.620

7mスロー得点賞

1	金 性 憲 (大同特殊鋼)	18点	(10試合)	1	富田 有美 (オムロン)	21点	(5試合)
2	呉 相 民 (アラコ九州)	15点	(9試合)	2	金 鎮 順 (メイプルレッズ)	17点	(6試合)
2	豊田 賢治 (大崎電気)	15点	(10試合)	3	山田 千尋 (ソニー)	16点	(6試合)
4	小沢 勝利 (湧永製薬)	12点	(10試合)	4	菅谷 美奈 (HC名古屋)	9点	(6試合)
5	谷 口 了 (ホンダ)	11点	(9試合)	5	坪井 美帆 (メイプルレッズ)	6点	(6試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏 (湧永製薬)	6本/ 13射	0.462	1	田代 ひろみ (北国銀行)	7本/ 15射	0.467
2	田平 龍太郎 (トヨタ車体)	13本/ 34射	0.382	2	田中 麻美 (北国銀行)	4本/ 9射	0.444
3	濱 口 靖 (大崎電気)	3本/ 10射	0.300	3	飛田 季実子 (ソニー)	4本/ 16射	0.250
4	石原 秀久 (大崎電気)	4本/ 15射	0.267	4	浅井 友可里 (メイプルレッズ)	4本/ 18射	0.222
5	松岡 厚志 (ホンダ熊本)	3本/ 14射	0.214	5	勝田 祥子 (オムロン)	3本/ 18射	0.167

第29回日本ハンドボールリーグ成績表

第7週終了現在 11月14日

順位	1部男子	大崎電気	大同特殊鋼	ホンダ	トヨタ車体	湧永製薬	アラコ九州	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気		30 26	26	29 28	25 19	32	28 29	10	7	1	2	15	272	255	17
2	大同特殊鋼	20 24		27	37 27	26	28 36	27 31	10	6	1	3	13	283	259	24
3	ホンダ	26	26		26 23	19 21	27 25	23 21	10	4	2	4	10	237	225	12
4	トヨタ車体	19 27	21 30	19 23		23 25	29	29	10	4	2	4	10	245	260	-15
5	湧永製薬	24 26	20	15 25	23 21		29	28 27	10	4	1	5	9	238	230	8
6	アラコ九州	29	28 28	29 18	21	20		22 29	9	3	1	5	7	224	255	-31
7	ホンダ熊本	26 34	23 27	18 25	25	30 22	21 28		11	3	0	8	6	279	294	-15

順位	1部女子	メイブルス'	オムロン	北国銀行	ソニー	H C名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルス'		28	30	33 34	35 29	6	5	0	1	10	189	156	33
2	オムロン	23		29	30 30	31	5	4	0	1	8	143	109	34
3	北国銀行	22	19		25	21 25	5	3	0	2	6	112	115	-3
4	ソニー-セミコンダクタ九州	35 24	22 24	20		25	6	2	0	4	4	150	175	-25
5	H C名古屋	29 23	16	20 16	23		6	0	0	6	0	127	166	-39

順位	2部男子	北陸電力	H C東京	トヨタ自動車	豊田合成	大阪ガス	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		29	33	36 35	33 29	6	6	0	0	12	195	120	75
2	H C東京	26		26 20	37 25	39	6	5	0	1	10	173	102	71
3	トヨタ自動車	17	10 15		29	29	5	2	0	3	4	100	122	-22
4	豊田合成	23 18	13 22	20		30	6	1	0	5	2	126	188	-62
5	大阪ガス	19 17	13	23	26		5	0	0	5	0	98	160	-62

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。